ADVC-200TV

Advanced DV Converter with TV Tuner

ユーザーズマニュアル

canopus

ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノープス株式会社
〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2
テクニカルサポート
土、日、祝日および当社指定休日を除く
10:00～12:00、13:00～17:00

安全にお使いいただくために

絵表示について

本製品を正しくお使いいただくために次のような表示をしています。
内容をよく理解してから本文をよくお読みください。

⚠警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠注意

取り扱いを誤ると、けがや周囲の物品を損傷するおそれのある内容を示しています。

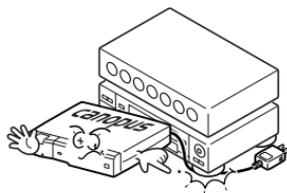
⚠（注意）は注意を促す事項を示しています。
⃠（禁止）はしてはいけない行為を示しています。
❗（強制）はしなければならない行為を示しています。

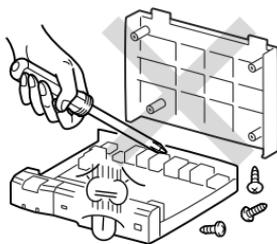
ご注意

(1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
(2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
(3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
(4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
(5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
(6) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
(7) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ADVC-200TV
ユーザーズマニュアル
Version 1.0J
November 18, 2002
Copyright © 2002 Canopus Co., Ltd.
All rights reserved.

● 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。
ACアダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

● キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。

● ほこりや湿気の多い場所では使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。

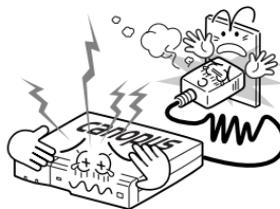
● 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入った場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

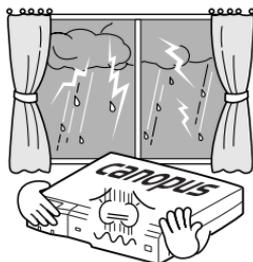
禁止

● 国外では使用しない

本製品は、日本国内での使用を前提として設計されています。
海外では電源電圧が異なりますので、付属のACアダプタでは使用できません。
使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

● 雷が鳴り出したら使わない

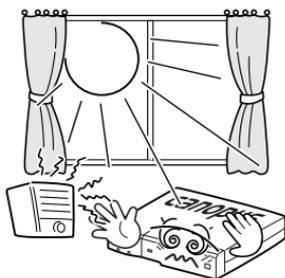
本体や、プラグには触れないでください。感電の原因となります。

禁止

● ぬれた手でACアダプタを触らない

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

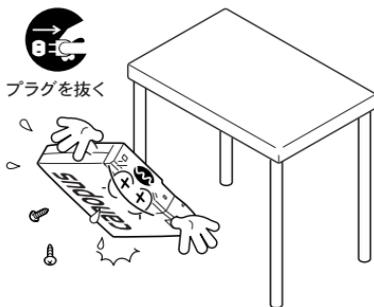
接触禁止

● 直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。
火災や製品の故障の原因となります。

● 煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。
火災や製品の故障の原因となります。
異常が発生したら、本体の電源を切り、電源コードを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

● 製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。
火災や製品の故障の原因となります。
製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⚠注意

● 不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。
落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。

● お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源プラグを抜いてください。
感電や製品の故障の原因となります。
お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

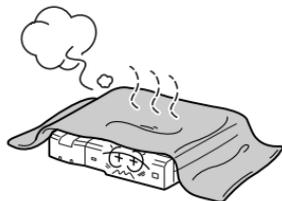
● 指定外の AC アダプタを使わない

付属のACアダプタ以外の製品を使わないでください。
火災や製品の故障の原因となります。

● コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは整理して配置してください。
足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。

● 本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。
内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

● 長時間使わないときはACアダプタを外す

使用しないときは、安全のためACアダプタをコンセントから外してください。

目次

本体の電源をON/OFFするときにノイズ音が出ますので、オーディオアンプのボリュームを下げておいてからON/OFFしてください。

ADVC-200TVの特長

TV映像をDV録画で高精度編集

テレビチューナーを搭載し、選局した番組の映像をDVおよびアナログビデオ/オーディオ信号で出力します。筐体上のスイッチでチャネル切り替え等を行えるので、PC/Macを問わず使用できます。テレビ映像もDVフォーマットでキャプチャできるので、ひとコマ単位で編集可能。音声データも、非圧縮PCM形式なので高音質です。

※ DV入力したテレビ映像をPC上で表示したり、録画・編集したりするには、それらの機能を持つアプリケーションが必要です。

カラーバー信号出力機能

本製品は、アナログビデオ出力から簡易リファレンスカラーバーを出力します。
画像の調整に便利です。

※ DV出力時にはカラーバーの出力はできません。

INPUT SELECTスイッチを約3秒押すとカラーバーが出力されます。
もう一度スイッチを押すと通常動作に戻ります。

映像と音がずれない「Locked Audio」

本製品は、音声を映像の速度に合わせて正確にデジタル化するLocked Audioを採用しました。映像と音声データをシンクロさせることにより、アナログ入力音声が遅延することがありません。映画などの長時間のコンテンツをコンバートする場合も安心です。

Locked Audio機能はアナログからDVに変換する場合のみ有効です。DV-DVの接続時には機能しません。

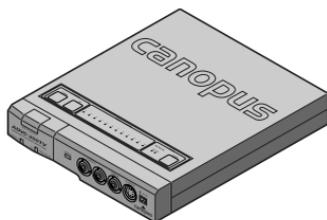
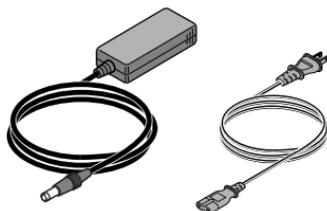
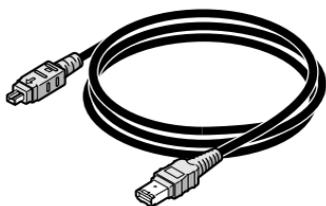
ADVC-200TVはNTSCのビデオ信号方式のみ対応しています。

ラストメモリー機能とは…
ユニットの電源を切る前の設定状態を内部FLASHに記憶し、次回電源投入時にその内容を元に電源を切る前の状態と同じ動作モードにする機能をいい、入力モード、選局チャネルなどに採用されています。
アナログ入力モードの場合、外部入力かTVチューナーかも再現します。

付属品の確認

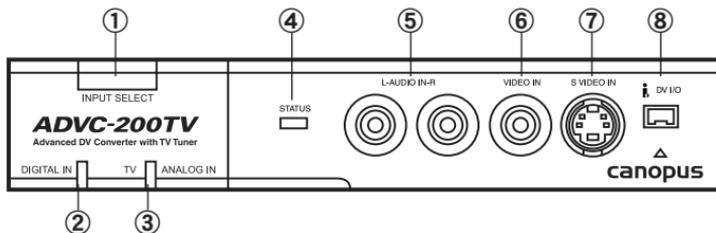
本製品には、以下の付属品が同梱されています。

■ ADVC-200TV 同梱物

□ ADVC-200TV

□ AC アダプタ & ケーブル

□ DV ケーブル(6pin-4pin)

□ ADVC-200TV ユーザーズマニュアル(本書)

□ ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書

各部の名称

■前面

① INPUT SELECTスイッチ

DVとアナログ(外部入力およびTVチューナー)の入力モードを切り替えるスイッチです。
次の3状態を繰り返しで切り替えます。

・チューナー→LINE→DV→チューナー

② DIGITAL IN LED

DVコネクタから信号を入力して、アナログ信号に変換する場合に点灯します。

③ ANALOG IN LED

アナログコネクタから信号を入力して、DV信号に変換する場合に点灯します。

・点灯…TVチューナーモードをあらわしています。
・点滅…外部入力モードをあらわしています。

④ STATUS LED

マクロビジョン信号検出時および異常時に点灯します。

⑤ AUDIO IN L/R

アナログオーディオ入力端子です。

⑥ VIDEO IN

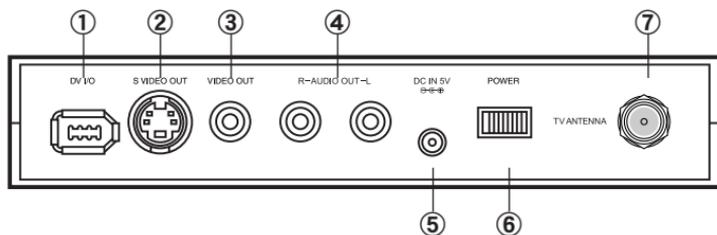
コンポジットビデオ入力端子です。

⑦ S-VIDEO IN

Sビデオ入力端子です。

⑧ DV IN/OUT

DV端子(4pin)です。

■背面

① DV IN/OUT

DV端子(6pin)です。

② S-VIDEO OUT

Sビデオ出力端子です。

③ VIDEO OUT

コンポジットビデオ出力端子です。

④ AUDIO OUT L/R

アナログオーディオ出力端子です。

⑤ DC IN 5V

付属のACアダプタを接続します。

⑥ POWERスイッチ

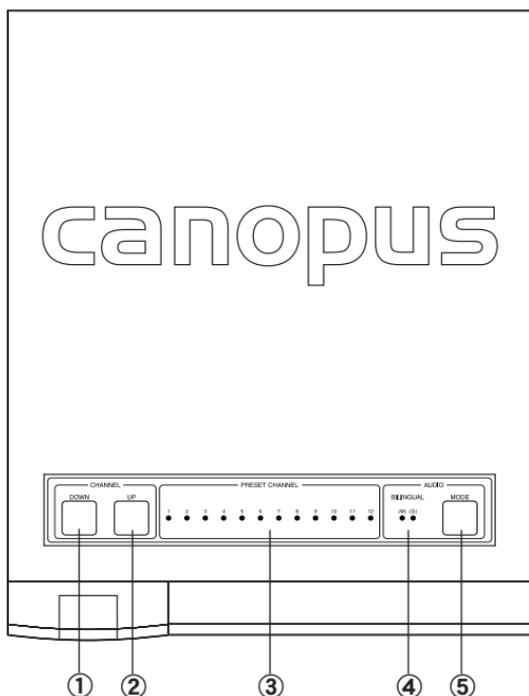
本体の電源をON/OFFします。

⑦ TVアンテナ接続端子

TV受信用アンテナの接続端子です。

注意！

ADVC-200TVにDVカメラをHUB接続することは動作保障外となります。

■ 上面

① CHANNEL DOWN スイッチ

チャネルを降順に選択します。

② CHANNEL UP スイッチ

チャネルを昇順に選択します。

③ PRESET CHANNEL

選択されているプリセットチャネルを表示します。

④ BILINGUAL

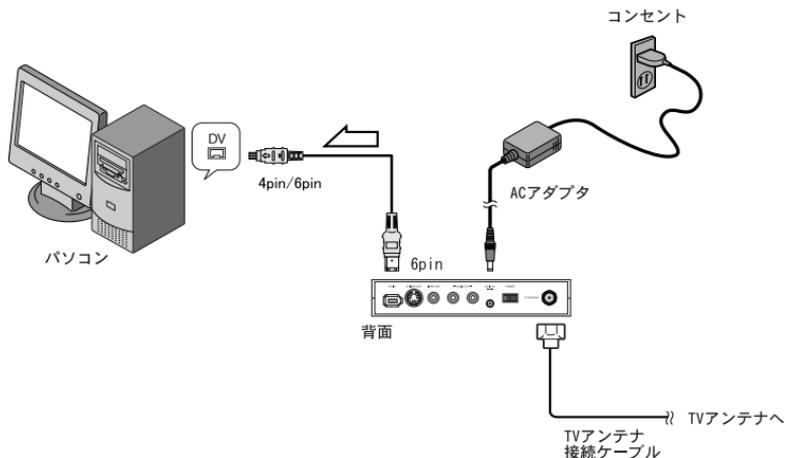
設定されている音声の出力形式を表示します。BILINGUAL放送およびDV入力時のみ有効です。

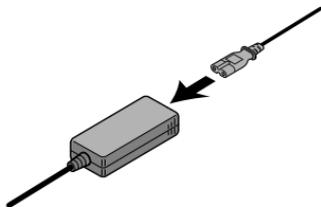
⑤ MODE スイッチ

音声の出力形式を変更します。スイッチを押すたびに、主・副音声→主音声→副音声の順に切り替わります。

テレビ映像をパソコンに取り込む

■ ADVC-200TV とパソコンを接続

図のようにTVアンテナとADVC-200TV、パソコンを接続してください。

DVケーブル(4pin-4pin)でADVC-200TV前面のDV端子にも接続することができます。

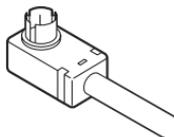
ACアダプタはユニット部とケーブル(コンセント側)が別体式となっていますので、接続してご使用ください。

■装着前の確認

テレビ受信用のアンテナとアンテナケーブルをご用意ください。
アンテナケーブルは、市販のＦ型コネクタプラグ付きアンテナケーブルか、先端にＦ型コネクタを取り付けたアンテナケーブルを使用してください。

Ｆ型コネクタプラグ

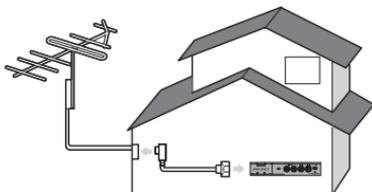
Ｆ型コネクタプラグ付きアンテナケーブル

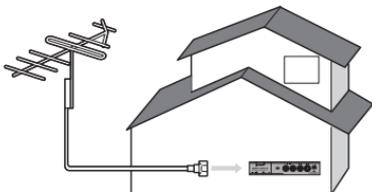
F型コネクタプラグやF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、本製品には付属していませんので、ご使用のアンテナ線に合わせて、別途お買い求めください。

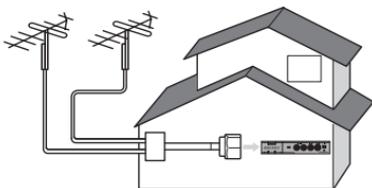
アンテナ線とADVC-200TVを接続するときは、F型コネクタプラグ付きのアンテナケーブルの使用をお勧めします。
下図に示す形状のプラグをADVC-200TVとの接続に使用した場合、ノイズの影響を受けやすいため、テレビ放送の受信が正常に行われない場合があります。

■ TV用アンテナ線の接続

テレビ受信用アンテナの接続をします。
現在使用しているアンテナ線の種類によって、接続方法が変わります。以下の接続方法の中から、現在使用している環境に合った手順を見つけ、その手順に合わせて接続を行ってください。

● 壁面にアンテナ端子が付いている場合

壁面にアンテナ端子だけがある場合は、F型コネクタプラグ付きアンテナケーブルを使用します。ADVC-200TVのTVアンテナ接続端子にF型コネクタプラグの付いた方を接続します。

● アンテナ線が1本の場合

アンテナ線が1本(UHF、VHFのみ、またはUHF/VHF混合)だけの場合は、アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付け、ADVC-200TV側のTVアンテナ接続端子に接続します。

● アンテナ線が2本の場合

アンテナ線が2本(UHFとVHF)の場合は、F型コネクタプラグの他に、U/V混合機が必要です。U/V混合機を取り付けてアンテナ線を1本にし、アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付け、ADVC-200TV側のTVアンテナ接続端子に接続します。

● アンテナ線に平行フィーダ線を使用している場合

アンテナ線に平行フィーダ線(右図参照)を使用している場合は、F型コネクタプラグの他に整合器が必要です。整合器を使用してアンテナ線を同軸ケーブルに変更してください。整合器の詳細については、ご購入時に販売店などでご確認ください。

分配器を使用して、アンテナ線を複数の機器に接続することも可能です。分配した配線の1本にF型コネクタプラグを取り付け、ADVC-200TVのTVアンテナ接続端子に接続します。ただし、分配によって信号が弱くなる場合などは、アンテナブースターが必要となることもあります。詳しくは分配器、アンテナブースター購入時に販売店などにご確認ください。

テレビを見る

■ADVC-200TVでテレビを見る

背面のPOWERスイッチをONにします。

→ ADVC-200TVの電源が入り、前面の3つのLEDが点灯します。
(TVチューナー入力モード)

ANALOG IN 外部入力モードになっている場合はLEDが点滅します。この場合は前面のINPUT SELECTスイッチを押して、ANALOG IN チューナーモードに切り替えてください(LEDは点灯します)。

上面のUP/DOWNスイッチでチャネルを変更します。

※ PRESET CHANNELのLEDが点灯していない場合は、入力モードを確認してください。外部入力時は点灯しません。

テレビを切る場合は、背面のPOWERスイッチをOFFにします。

→ ADVC-200TVの電源が切れます。

テレビチューナーモード時には、常にアナログ出力端子およびDV端子より信号が出力されています。この状態でアナログ出力端子とテレビを接続して見ることができます。
またDV端子からケーブルでパソコンに接続し、パソコンのDVキャプチャソフトを起動すると、DV形式でTV放送をキャプチャすることができます。

AUDIO MODE表示とオーディオ出力の動作

AUDIO MODE LEDは常にバイリンガル放送（もしくはDV入力モード）時の出力チャネルの状態を表示します。AUDIO MODEスイッチでユニットからの音声出力の3状態を繰り返しで切り替えます。

1．両チャネル出力（LED両方点灯）… 左からメイン音声、右からサブ音声を出力

2．メイン音声（LED M側点灯）…メイン音声のみを左右から出力

3．サブ音声（LED S側点灯）…サブ音声のみを左右から出力

オーディオの出力は、バイリンガル放送（もしくはDV入力モード）時のみ、上記に従って出力し、その他のSTEREO放送時やMONO放送時は、そのままSTEREO及びMONOで出力します。

しかし、ノーマルモードでキャプチャすると、再生時にユニット本体のAUDIO MODEスイッチで主音声(MAIN)+副音声(SUB)、主音声(MAIN)、副音声(SUB)のいずれかを選択して聞くことができます。

DVキャプチャ対応ソフトによっては、上記ノーマルモードで正常にキャプチャできないソフトがあります。そのためキャプチャ時に次の音声モードをDIP－SWで選択できるようにしています。

・ ノーマルモード：L-chに主音声（MAIN)、R-chに副音声（SUB)がキャプチャされます。

・ 主音声のみキャプチャ：主音声（MAINのみがモノラルで)がキャプチャされます。

・ 副音声のみキャプチャ：副音声（SUBのみがモノラルで)がキャプチャされます。

アナログ映像をパソコンに取り込む

■アナログビデオとパソコンを接続

図のようにビデオ、テレビおよびパソコンとADVC-200TVを接続してください。

コンセント

DV

4pin/6pin

ACアダプタ

パソコン

ADVC-200TV

前面

6pin

背面

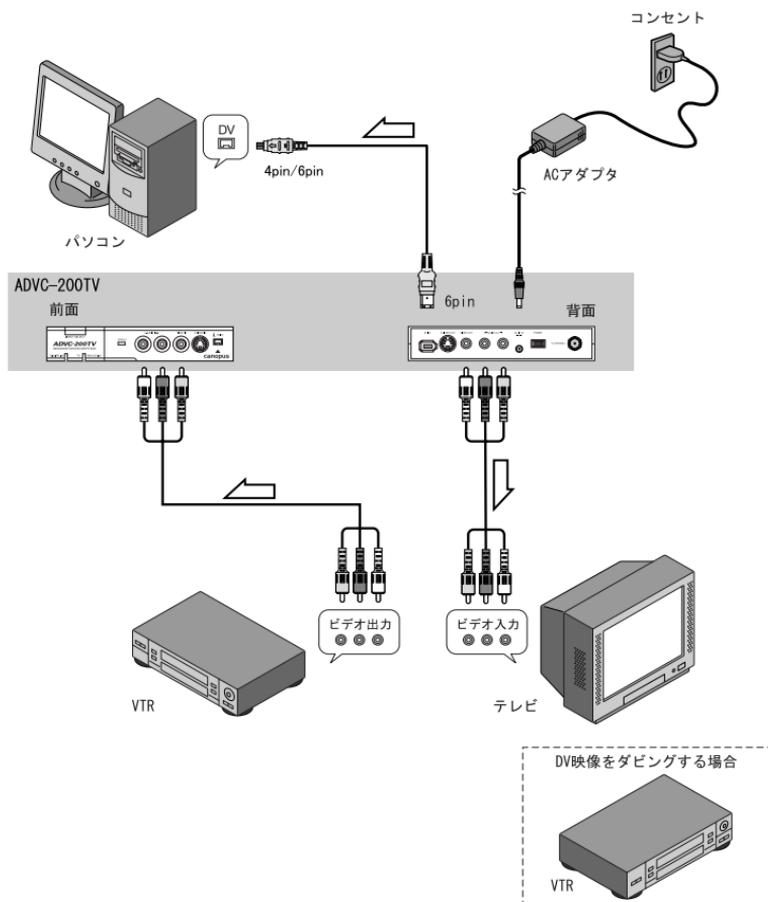
ビデオ出力

ビデオ入力

VTR

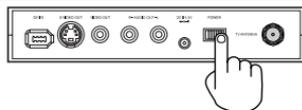
テレビ

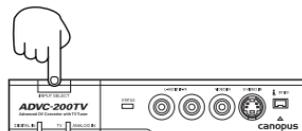
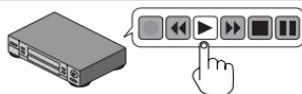
DV映像をダビングする場合

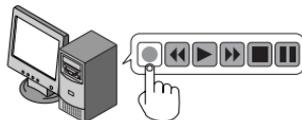
VTR

DVケーブル(4pin-4pin)でADVC-200TV前面のDV端子にも接続することができます。

■アナログビデオの映像をDVに変換しながらパソコンに取り込む

背面のPOWERスイッチをONにします。

→ ADVC-200TVの電源が入り、1秒以内に前面の3つのLEDが点灯します。(TVチューナー入力モード)

前面のINPUT SELECTスイッチを押し、入力モードをANALOG IN 外部入力モードに切り替えます。

→ ANALOG INランプが点滅します。

アナログビデオで取り込みたい映像を再生します。

パソコンで映像をキャプチャします。

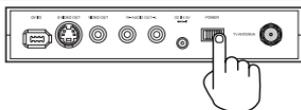
※ パソコンで映像をキャプチャする方法については、パソコンでお使いになるソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

キャプチャ時のオーディオ・サンプリング周波数について

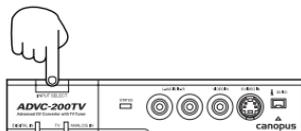
・ ＴＶ放送選択時：48kHz（16bit）固定です。

・ LINE入力選択時：48kHz（16bit)、32kHz(12bit）から選択することができます。選択方法は、ディップスイッチもしくはパソコンからのソフトで設定します。

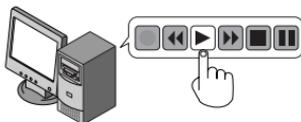
■パソコンのDV映像をビデオに録画(テレビに映す)

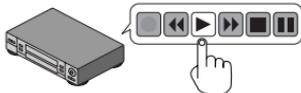
背面のPOWERスイッチをONにします。

→ ADVC-200TVの電源が入り、1秒以内に前面の3つのLEDが点灯します。(TVチューナー入力モード)

前面のINPUT SELECTスイッチを押し、入力モードをDIGITAL INに切り替えます。

→ DIGITAL INランプが点灯します。

アナログビデオを録画一時停止の状態にしておきます。

パソコンからDV映像を出力します。

※ パソコンからDV映像を出力する方法については、パソコンでお使いになるソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

アナログビデオの録画一時停止を解除します。

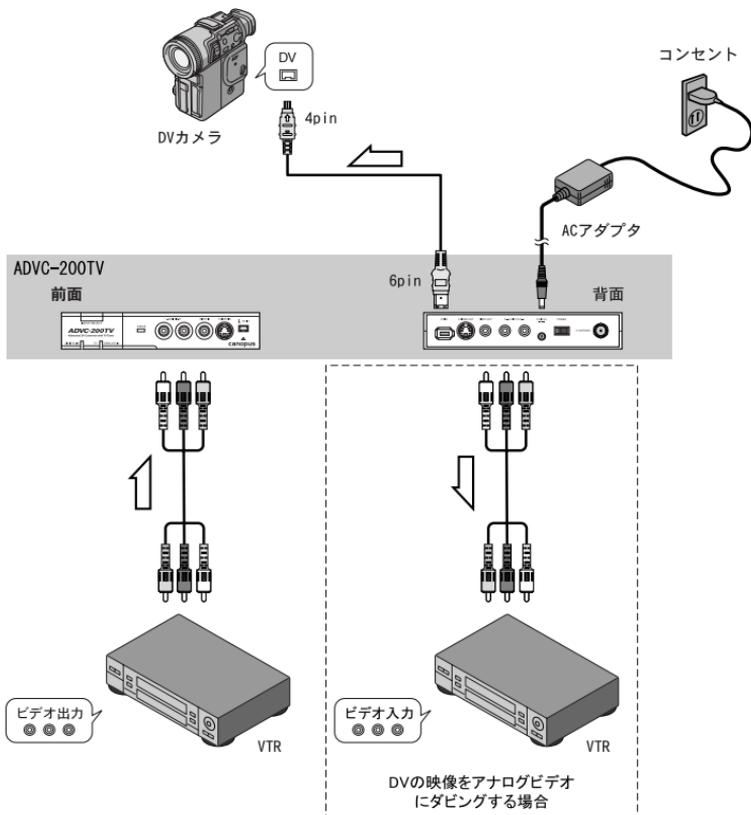
→ DV映像がアナログビデオにダビングされます。

ポイント

ビデオ出力信号をテレビの外部入力端子に接続することで、テレビにパソコンからのDV映像を映すことができます。

アナログ映像をDVにダビング

■ アナログビデオとDVを接続

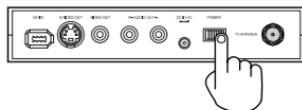
図のようにアナログビデオおよびDVカメラとADVC-200TVを接続してください。アナログビデオからの入力は前面から、DVへのダビングデータの出力は背面より行ってください。

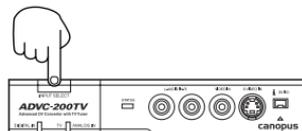
DVカメラ
DV
4pin
コンセント
ACアダプタ
ADVC-200TV
前面
6pin
背面
ビデオ出力
VTR
ビデオ入力
VTR
DVの映像をアナログビデオにダビングする場合

DVケーブル(4pin-4pin)でADVC-200TV前面のDV端子にも接続することができます。

■アナログビデオの映像をDVにダビング

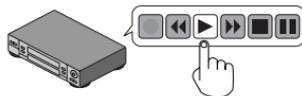
背面のPOWERスイッチをONにします。

→ ADVC-200TVの電源が入り、1秒以内に前面の3つのLEDが点灯します。（TVチューナー入力モード）

2

前面のINPUT SELECTスイッチを押し、入力モードをANALOG IN 外部入力モードに切り替えます。

→ ANALOG INランプが点滅します。

DVを録画一時停止の状態にしておきます。

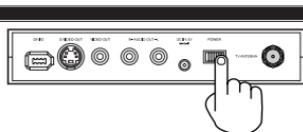
4

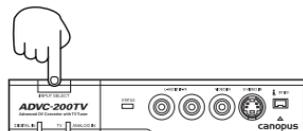
アナログビデオでダビングしたい映像を再生します。

DVの録画一時停止を解除します。

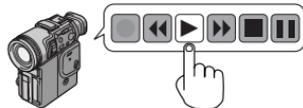
→ アナログ映像がDVにダビングされます。

■DVの映像をアナログビデオにダビング

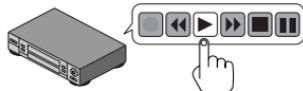
背面のPOWERスイッチをONにします。

→ ADVC-200TVの電源が入り、1秒以内に前面の3つのLEDが点灯します。（TVチューナー入力モード）

前面のINPUT SELECTスイッチを押し、入力モードをDIGITAL INに切り替えます。

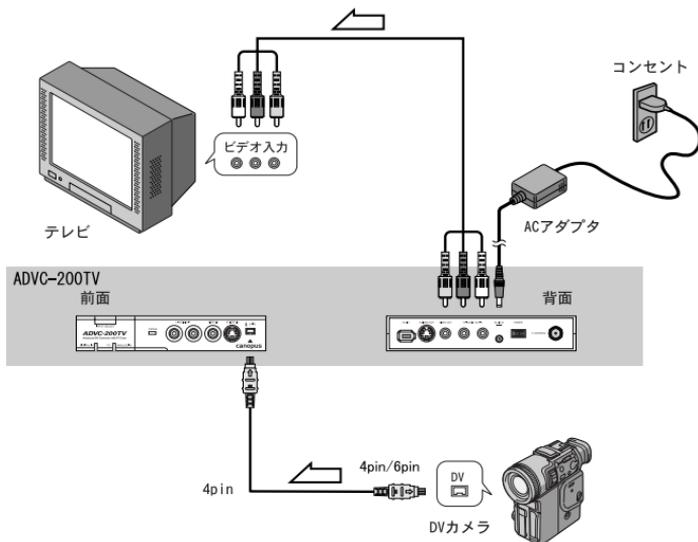
→ DIGITAL INランプが点灯します。

アナログビデオを録画一時停止の状態にしておきます。

DVでダビングしたい映像を再生します。

5

アナログビデオの録画一時停止を解除します。

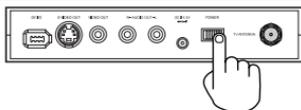
→ DV映像がアナログビデオにダビングされます。

DV 映像をテレビで見る

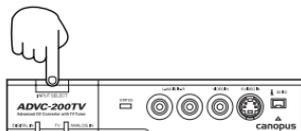
■ DV とテレビを接続

図のようにテレビおよびDV カメラと ADVC-200TV を接続してください。

■DVの映像をテレビで見る

背面のPOWERスイッチをONにします。

→ ADVC-200TVの電源が入り、1秒以内に前面の3つのLEDが点灯します。(TVチューナー入力モード)

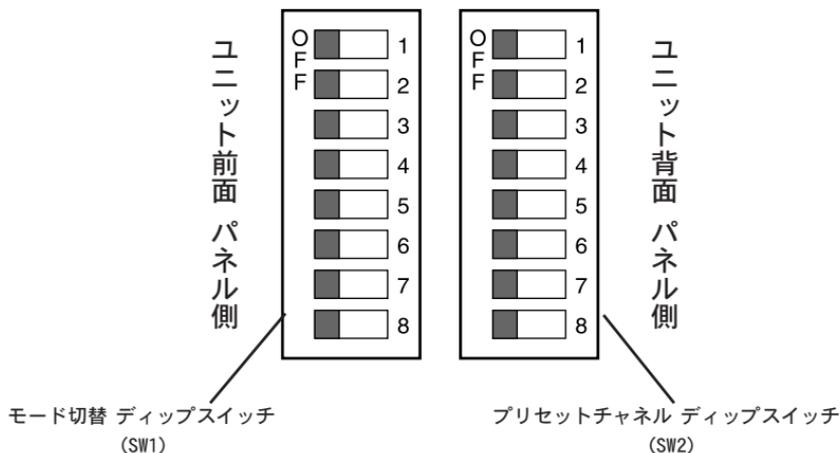
2

前面のINPUT SELECTスイッチを押し、入力モードをDIGITAL INに切り替えます。

→ DIGITAL INランプが点灯します。

DVを再生します。

→ DVの映像がテレビに表示されます。

ディップスイッチ設定

■モード切替とプリセットチャネル

ADVC-200TV 底面には「モード切替」(SW1)および「プリセットチャネル設定」(SW2)の 2 つのディップスイッチがあります。

ADVC-200TV底面の前面側にあるディップスイッチが「モード切替」でADVC-200TVのモードを設定します(次頁参照)。背面側にあるディップスイッチが「PRESET CHANNEL」でADVC-200TVのチャネルを設定します(p.35参照)。

■モード切替 ディップスイッチ(SW1)

ADVC-200TVのモードを設定します。出荷時はすべてOFF選択されています。

No.	MODE	OFF	ON
1	PHY SPEED	S400	S200
2	Update Mode	Normal	Update
3	Locked Audio Mode	Locked	Unlocked
4	Audio Mode	48kHz_16bit	32kHz_12bit
5	Reserve		
6	Reserve		
7	Reserve		
8	Operation Mode	UNIT	PC

SW1 PHY SPEED設定

PHY SPEEDを設定します(通常はS400でお使いください)。

OFF:S400　　ON:S200

SW2 Update Mode設定

Update Modeを設定します(通常はNormalでお使いください)。

OFF:Normal　　ON:Update

SW3 Locked Audio Mode設定

Locked Audioモードの使用を選択します(p.53参照)。

OFF:Locked　　ON:Unlocked

SW4 Audio Mode設定

オーディオ周波数を選択します。

OFF:48kHz_16bit　　ON:32kHz_12bit

SW5 Reserve

使用しません。

SW6 Reserve

使用しません。

SW7 Reserve

使用しません。

SW8 Operation Mode設定

ユニットの制御方法を選択します。

OFF:UNIT　　ON:PC

Operation Modeについて
PCモードとUNITモードを選択することができます。
使用モードを切り替える時は、ユニットの電源を切った状態でディップスイッチの切り替えを行ってください。
Macや当社DV製品と接続する場合は、Operation Mode＝UNITを選択してください。

UNITモード：
ユニット単体で使用し、操作もユニット上のボタンとインジケータで行うモードです。動作モード設定はディップスイッチで行います。
画質設定、音質設定、チャネルプリセットもユニット単体で設定可能です。Macモードや単純DVコンバータとして使用する場合のモードです。

PCモード：
１３９４I/F経由で接続されたPCからユニットの機能を制御するモードです。画質設定、音質設定、チャネルプリセットもPC上から制御可能です。
ユニット本体のボタンスイッチは動作しません。

■プリセットチャネル　ディップスイッチ(SW2)

ADVC-200TVのプリセットチャネルを設定します。No.1からNo.4のON、OFFを組み合わせることによりチューナー設定の変更を行うことが可能となります(次頁参照)。また、No.6とNo.7のON、OFFを組み合わせることで音声出力の設定変更を行うことも可能です(p.34参照)。
出荷時はすべてOFF選択されています。

No.	MODE	OFF	ON
1	TV-CH PRESET MODE1	Normal	Adjust
2	TV-CH PRESET MODE2	Normal	Adjust
3	TV-CH PRESET MODE3	Normal	Adjust
4	Video Audio Adjust Mode	Normal	Adjust
5	STEREO FLAG	Normal	Fix STEREO
6	BILINGUAL MODE	Normal	Select M/S
7	Select MAIN/SUB (No.6=ON)	MAIN	SUB
8	Reserve		

SW1 TV-CH　PRESET MODE 1

SW2 TV-CH　PRESET MODE 2

SW3 TV-CH　PRESET MODE 3

SW4 Video Audio Adjust Mode

プリセットチャネル　ディップスイッチのNo.1からNo.4を組み合わせることでチューナー設定を行うことができます(次頁参照)。

SW5 STEREO FLAG

DVキャプチャ対応ソフトでキャプチャ中にTVがモノラル放送からステレオ放送にもしくはその逆に切り替った時にキャプチャが停止するような場合、このスイッチをONにしてください。このスイッチをONにすることにより、常にステレオ放送として処理されます。Premiere等でキャプチャ中にTVの放送がモノラル（ドラマ）からステレオ（CM）に切り替るとキャプチャ動作が停止するので、このような場合にONにしておけば停止しなくなります。

SW6 BILINGUAL MODE

使用しません。

SW7 Select MAIN/SUB

プリセットチャネル ディップスイッチのNo.6からNo.7を組み合わせることで音声の出力モード設定を行うことができます(p.34参照)。

SW8 Reserve

常にOFFにしておいてください。

■チューナー設定

プリセットチャネル ディップスイッチのNo.1からNo.4を組み合わせることで以下のような設定を行うことができます。

No.1	No.2	No.3	No.4	
OFF	OFF	OFF	OFF	ノーマル使用状態
ON	OFF	OFF	OFF	TVチャネル地域コード設定
OFF	ON	OFF	OFF	ダイレクトチャネル設定
ON	ON	OFF	OFF	チャネル微調整モード
OFF	OFF	ON	OFF	Reserve
ON	OFF	ON	OFF	Reserve
OFF	ON	ON	OFF	Reserve
ON	ON	ON	OFF	TVチャネルプリセット状態確認
OFF	OFF	OFF	ON	画質、音量調整モード

ディップスイッチの設定変更は、電源OFFの状態で行ってください

画質調整で変更した設定は、アナログデータからDVデータの変換時に、反映されます。

■音声切替

音声多重放送時には、プリセットチャネル　ディップスイッチのNo.6からNo.7を組み合わせることでDVフォーマットの音声出力モードを設定します。
通常ノーマルモードでキャプチャでしておけば、再生時にユニット本体のAUDIO MODEスイッチで主音声(MAIN)+副音声(SUB)、主音声(MAIN)、副音声(SUB)のいずれかを選択して聞くことができます。
しかしDVキャプチャー対応ソフトによっては、下記ノーマルモードで正常にキャプチャーできないソフトがあるために、キャプチャ時に音声モードを選択できるようにしています(p.20参照)。

No.6	No.7	
OFF	OFF	ノーマルモード：L-chに主音声（MAIN)、R-chに副音声（SUB)がキャプチャされます。
ON	OFF	主音声のみキャプチャ：主音声（MAIN)のみがモノラルでキャプチャされます。
ON	ON	副音声のみキャプチャ：副音声（SUB)のみがモノラルでキャプチャされます。

TV チャネルを設定する

■ TV チャネルの設定

ADVC-200TV では、12 個のプリセットチャネルを登録することができます。初回起動時には、TV チャネルの設定を行っていただく必要があります。チャネルの設定には、2 種類の設定方法があります。

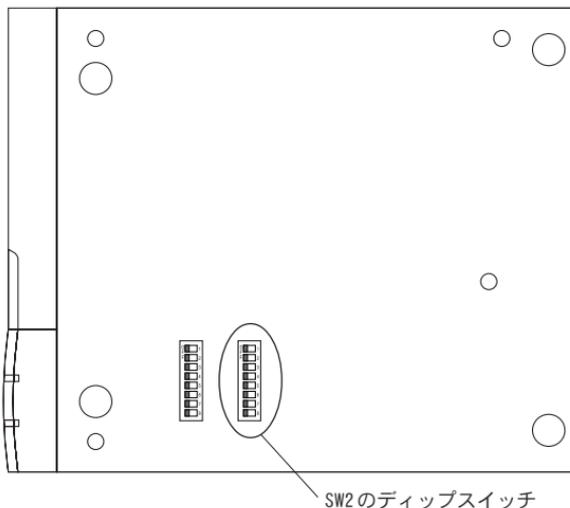
・ 地域チャネルコードによる設定

地域チャネルコードから選択し、地域別に予め用意されているプリセットデータを利用してチャネルを設定します。

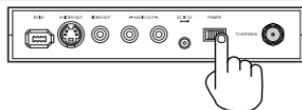
・ ダイレクトチャネルによる設定

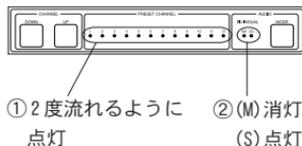
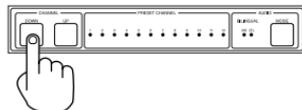
1 ～ 12 のプリセットチャネルに、任意の放送局チャネルを登録します。また、「地域チャネルコードによる設定」を行った後に、任意のプリセットチャネルの登録内容を変更する場合にもこの方法で行います。

■ TV チャネルを設定するには…

TVチャネル設定するには、ADVC-200TV底面のプリセットチャネル(SW2)のディップスイッチを使用します(p. 32 参照)。

■ TVチャネル地域コードによる設定

該当する受信エリアがない場合は、プリセットチャンネル表(別紙)より近い場所を選択してください。チャネルは、「ダイレクトチャネルによる設定」を行うことで後から変更することができます。
チューナー微調整モード(p.45参照)で調整した値も地域設定をすると初期化されます。
工場出荷時には、東京23区の設定がプリセットされています。

ADVC-200TV底面にあるSW2のディップスイッチNo1をON、No2,3,4をOFFに設定し、POWERスイッチをONします。

プリセット中は、DVおよびアナログビデオは出力状態で、オーディオ出力はミュートされます。
プリセット中は、常にCH1を出力します(CH1がブランクチャンネルであってもCH1を出力します)。

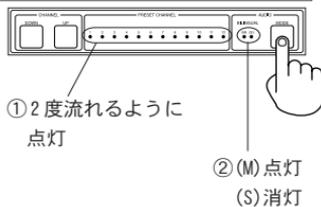
POWER ONすると、プリセットチャネル部分のLEDがCH1からCH12に向かって2度流れる様に点灯します。その後AUDIO BILINGUAL部分の(M)LED =消灯、(S)LED=点灯(地域名設定モード)の入力待ち状態となりCH1のLEDが点滅します。

地域チャネルコード表からお使いの地域名に割り当てられている番号を選択します。

→ DOWN/UPスイッチで該当する地域名の番号のLED(例:1=CH1のLED)を点灯させます。選択中は、LEDが点滅します。

※ UPスイッチは最大10までしか移動できません。

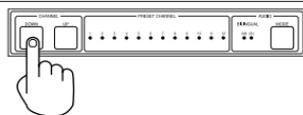
AUDIO MODEスイッチを押し、番号を確定します。

①2度流れるように点灯

②(M)点灯
(S)消灯

→ LED表示がCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED＝点灯、(S)LED ＝消灯(都道府県名設定モード)の入力待ち状態となりCH1のLEDが点滅します。

地域チャネルコード表からお使いの都道府県に割り当てられている番号を選択します。

→ DOWN/UPスイッチで該当する都道府県名の番号のLED(例：1=CH1のLED)を点灯させます。選択中は、LEDが点滅します。

※ DOWN/UPスイッチで移動できる範囲は手順④で選択した地域によって異なります。

AUDIO MODEスイッチを押し、番号を確定します。

①2度流れるように点灯

②(M)点灯
(S)点灯

→ LED表示がCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED＝点灯、(S)LED ＝点灯(受信地域設定モード)の入力待ち状態となりCH1のLEDが点滅します。

地域チャネルコード表からお使いの受信地域に割り当てられている番号を選択します。

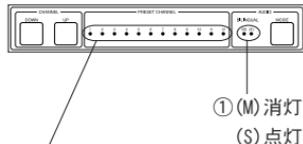
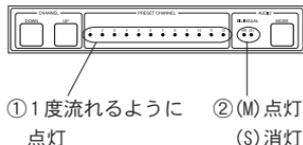
→ DOWN/UP スイッチで該当する受信地域名の番号のLED(例1=CH1のLED)を点灯させます。選択中は、LEDが点滅します。

※ DOWN/UP スイッチで移動できる範囲は、手順⑥で選択した受信地域によって異なります。

AUDIO MODEスイッチを押し、番号を確定します。

→ LED表示がCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯し、プリセットチャネルの内容が更新されます。

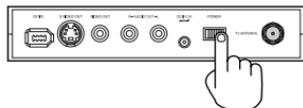
9

AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED ＝消灯、(S)LED ＝点灯(地域名確認モード)状態となり、地域番号のLEDが5度点滅します。

PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって1度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED ＝点灯、(S)LED＝消灯(都道府県名確認モード)状態となり、都道府県番号のLEDが5度点滅します。

PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって1度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED ＝点灯、(S)LED＝点灯(受信地域確認モード)状態となり、受信地域番号のLEDが5度点滅します。

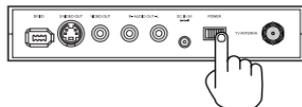
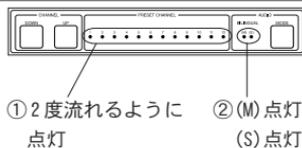
①1度流れるように点灯　②(M)点灯 (S)点灯

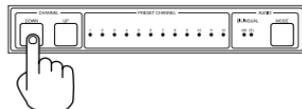
③受信地域番号が5度点滅

LED表示ががCH1からCH12に向かって1度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED ＝点灯、(S)LED＝点灯となりCH1のLEDが点滅します。

POWERスイッチをOFFにし、ADVC-200TV底面にあるSW2のディップスイッチNo1をOFFに戻します。

■ダイレクトチャネルによる設定

チューナー微調整モード（p.45参照）で調整した値も地域設定をすると初期化されます。

ADVC-200TV底面にあるSW2のディップスイッチNo2をON、No1,3,4をOFFに設定し、POWERスイッチをONします。

POWER ONすると、PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED＝点灯、(S)LED＝点灯（表示チャネル選択モード）の入力待ち状態となりCH1のLEDが点滅します。

登録を変更するプリセットチャネルを選択します。

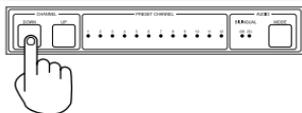
→ DOWN/UPスイッチで該当するプリセットチャンネルのLED（例：CH1に登録されたプリセットチャネル変更する場合はCH1のLED）を点灯させます。選択中は、LEDが点滅します。

プリセット中は、現在CH1に登録されているチャネルをDV出力、アナログビデオ出力およびオーディオ出力します（選択されているプリセットチャネルに何も割り当てられていない場合は、一番高い周波数を割り当てて信号を出力します）。

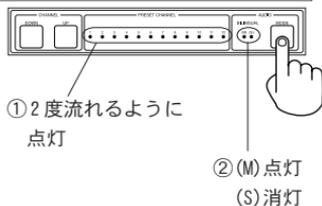
AUDIO MODEスイッチを押し、番号を確定します。

①2度流れるように点灯

②(M)点滅
(S)点滅

→ LED表示がCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED＝点滅、(S)LED＝点滅(地上波TV/ケーブルTV選択モード)の入力待ち状態となりCH1のLEDが点滅します。

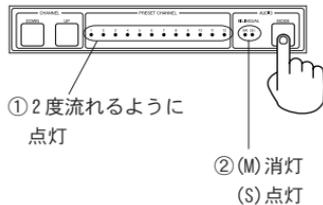
地上波のTVチャネルを登録する場合はCH1を、ケーブルTVのチャネルを登録する場合はCH2をDOWN/UPスイッチで選択します。

AUDIO MODEスイッチを押し、番号を確定します。

→ LED表示がCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED＝点灯、(S)LED＝消灯(10の位選択モード)の入力待ち状態となりCH1のLEDが点滅します。

2桁のチャネルの1桁目(10の位)を選択します。

→ DOWN/UPスイッチで該当するプリセットチャネルのLED(例：1を入力する場合、CH1のLED)を点灯させます。選択中は、LEDが点滅します。

地上波TVの場合は0～6、ケーブルTVの場合は1～6までの数値を選択します。0の入力は、CH10を選択します。

AUDIO MODEスイッチを押し、番号を確定します。

→ LED表示がCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED＝消灯、(S)LED＝点灯(1の位選択モード）の入力待ち状態となりCH1のLEDが点滅します。

2桁のチャネルの2桁目(1の位)を選択します。

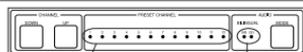
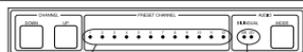
→ DOWN/UPスイッチで該当するプリセットチャネルのLED(例：1を入力する場合、CH1のLED)を点灯させます。選択中は、LEDが点滅します。

チャネル選択時には、選択しているチャネルがアナログおよびDV出力されます。

地上波TVの場合は0～9(手順7でCH6を選択した場合は0～2)、ケーブルTVの場合は0～9(手順7でCH6を選択した場合は0～3、CH1を選択した場合は3～9)までの数値を選択します。0は10CHを選択します。

AUDIO MODEスイッチを押し、番号を確定します。

→ LED表示がCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯し、プリセットチャネルの内容が更新されます。

AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED ＝点灯、(S)LED＝点灯(プリセットチャネル確認モード)状態となり、登録を変更したプリセットチャネルのLEDが5度点滅します。

PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって1度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED ＝点滅、(S)LED＝点滅(地上波TV/CATV確認モード)状態となり、地上波TVチャネルまたはケーブルTVチャンネルの設定内容がLEDに5度点滅します。

③地上波TVチャンネルまたはケーブルTVチャンネルが5度点滅

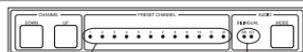
13

PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって1度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED ＝点灯、(S)LED＝消灯(10の位選択)状態となり、2桁のチャネルの1桁目(10の位確認モード)のLEDが5度点滅します。

①1度流れるように
点灯

②(M)点灯
(S)消灯

③チャンネルの10の位が5度
点滅

PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって1度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED ＝消灯、(S)LED＝点灯(1の位選択)状態となり、2桁のチャネルの2桁目(1の位確認モード)のLEDが5度点滅します。

①1度流れるように
点灯

②(M)消灯
(S)点灯

③チャンネルの1の位が5度
点滅

LED表示ががCH1からCH12に向かって3度流れる様に点灯します。その後、選択したチャネルのLEDが点滅します。

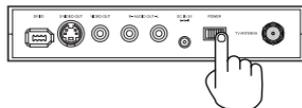
①選択したチャネルのLEDが点滅

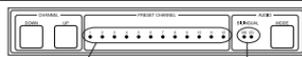
POWERスイッチをOFFします。ADVC-200TV底面にあるSW2のディップスイッチNo2をOFFに戻します。

他のチャネルも変更する場合は、手順3～15を繰り返します。

■チャネル微調整モード

現在の選択しているチャネルの微調整を行います。

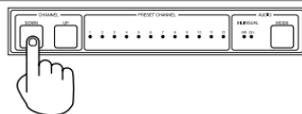
ADVC-200TV底面にあるSW2のディップスイッチNo1,2をON、No3,4をOFFに設定し、POWERスイッチをONします。

プリセット中は、DVおよびアナログビデオは出力状態で、オーディオ出力はミュートされます。

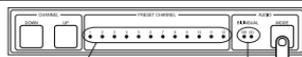
POWER ONすると、PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯します。その後AUDIO BILINGUAL部分の(M)LED＝点灯、(S)LED＝点灯(チューナー調整モード)の入力待ち状態となりプリセットされた最初のチャネルのLEDが点滅します。

①２度流れるように点灯

②(M)点灯
(S)点灯

※ CH1がブランクならCH2が点滅します。

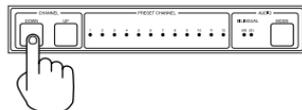
微調整を行うプリセットチャネルを選択します。

→ DOWN/UPスイッチで微調整を行うプリセットチャネル番号のＬＥＤ(例1=CH1のLED)を点灯させます。選択中は、LEDが点滅します。

AUDIO MODEスイッチを押し、番号を確定します。

→ LED表示がCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯します。その後AUDIO BILINGUAL部分の(M)LED＝点灯、(S)LED＝点灯の入力待ち状態となりCH6のLEDが点滅します。

①２度流れるように点灯

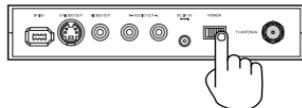
②(M)点灯
(S)点灯

微調整を行います。

→ DOWN/UP スイッチで± 6MHz の間を 62.5KHz 刻みで調整することができます。LED は、1.2MHz 刻みで 1 つ移動します。

DOWN/UPボタンは押しつづけるとリピート(ボタンを連打した状態と同じ)します。

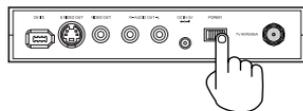
現在の状態を、CH6がセンターとしてCH1～CH11のうち何れかのLEDが点滅表示されます(微調整していない場合は、CH6 の LED が点滅します)。確認後、AUDIO MODE スイッチを押します。

→ LED 表示が CH1 から CH12 に向かって 2 度流れる様に点灯します。その後 AUDIO　BILINGUAL 部分の(M)LED =点灯、(S)LED =点灯の入力待ち状態となり変更したチャンネルの LED が点滅します。

POWERスイッチをOFFします。ADVC-200TV 底面にある SW2 のディップスイッチ No1、2 を OFF に戻します。

他のチャネルも変更する場合は、手順3～6を繰り返します。

■TVチャネルプリセット状態確認モード

現在設定されているチャネルプリセットの地域コード情報を確認することができます。

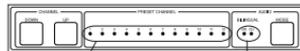
ADVC-200TV底面にあるSW2のディップスイッチNo1、2、3をON、No4をOFFに設定し、POWERスイッチをONします。

プリセット中は、DVおよびアナログビデオは出力状態で、オーディオ出力はミュートされます。

POWER ONすると、PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって2度流れる様に点灯します。その後AUDIO BILINGUAL部分の(M)LED＝消灯、(S)LED＝点灯(地域名確認モード)状態となり、地域番号のLEDが5度点滅します。

①2度流れるように点灯

②(M)消灯 (S)点灯

③地域番号が5度点滅

PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって1度流れる様に点灯します。その後AUDIO BILINGUAL部分の(M)LED＝点灯、(S)LED＝消灯(都道府県名確認モード)状態となり、都道府県番号のLEDが5度点滅します。

①1度流れるように点灯

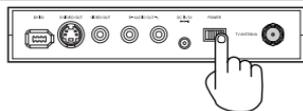
②(M)点灯 (S)消灯

③都道府県番号が5度点滅

PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって1度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED ＝点灯、(S)LED＝点灯(受信地域確認モード)状態となり、受信地域番号のLEDが5度点滅します。

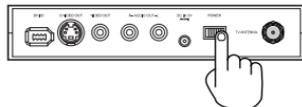
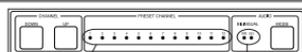
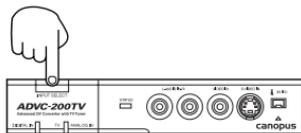
①1度流れるように点灯　②(M)点灯 (S)点灯

③受信地域番号が5度点滅

CH1のLEDが点滅後、POWERスイッチをOFFし、 ADVC-200TV底面にあるSW2のディップスイッチNo1、2、3をOFFに戻します。

■ 画質および音質調整

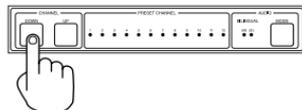
ADVC-200TVには、画質および音質調整機能があります。TVチューナーと外部入力(LINE)との2種類の設定を記憶させせることができます。

TVチューナーの画質および音質調整機能は、全チャネル共通となります。
外部入力の画質および音質調整機能は、S-VIDEOとCOMPOSITEは共通となります。
DV入力機器の調整は行えません。

ADVC-200TV底面にあるSW2のディップスイッチNo4をON、No1,2,3をOFFに設定し、POWERスイッチをONします。

POWER ONすると、PRESET CHANNEL部分のLEDがCH1からCH12に向かって2度流れる様に点灯します。その後AUDIO BILINGUAL部分の(M)LED＝消灯、(S)LED＝消灯(画質・音質調整モード)の入力待ち状態となりCH1のLEDが点滅します。

前面のINPUT SELECTスイッチを押し(1回押すごとにTVチューナー→外部入力→TVチューナー…と切り替わります)、入力モード(TVチューナーもしくは外部入力)を切り替えます。

→ TVチューナー入力選択時、ANALOG IN LED(青)が点灯します。

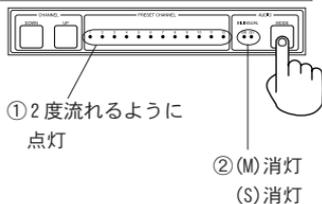
→ 外部入力選択時、ANALOG IN LED(青)が点滅します。

調整する項目を選択します。

→ 下図を参照して項目を選択してください。

DOWN/UPボタンで該当する項目のLED(例：輝度調整を行う場合はCH2のLED)を点灯させます。選択中は、LEDが点滅します。

CH1	画質、音質デフォルト設定
CH2	輝度調整(256step　低…センター…高)
CH3	コントラスト調整(256step　低…センター…高)
CH4	色合い調整(256step　緑っぽい…センター…赤っぽい)
CH5	色の濃さ調(256step　薄い…センター…濃い)
CH6	シャープネス調整(11step　弱…センター…強)
CH7	ボリューム調整(256 step　小…センター…大)
CH8	低音調整(32step　弱…センター…強)
CH9	高音調整(32step　弱…センター…強)
CH10	画質デフォルト設定
CH11	音質デフォルト設定

AUDIO MODEスイッチを押し、入力モードおよび調整項目を確定します。

→［CH1　画質、音質デフォルト設定］、［CH10　画質デフォルト設定］、［CH11　音質デフォルト設定］以外を選択した場合、LED表示がCH1からCH12に向かって2度流れる様に点灯します。その後AUDIO　BILINGUAL部分の(M)LED＝消灯、(S)LED＝消灯の入力待ち状態となりデフォルト値のLEDが点滅しますので手順6に進みます。

以下の場合は、該当するLEDが点滅し続けて手順7にスキップします。

・［画質、音質デフォルト設定］選択時は、CHANNEL LED12個とAUDIO LED2個が同時に点滅します。
・［画質デフォルト設定］選択時は、CHANNEL LED12個のみ同時に点滅します。
・［音質デフォルト設定］選択時は、AUDIO LED2個が同時に点滅します。

入力モードおよび調整項目の両方を選択してから、AUDIO MODEスイッチを押してください。

現在の状態を、CH6がセンターとしてCH1～CH11のうち何れかのLEDが点滅表示されます（調整していない場合は、デフォルト値のLEDが点滅します）。

DOWN/UPスイッチで調整することができます。調整を強める場合はCH11、調整を弱める場合はCH1までの範囲でLEDの点滅が移動します。

256Step調整できる項目(CH2、CH3、CH4、CH5、CH7)では、LEDの点灯が以下の設定値であることを示します。

LED	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
設定値	0	23	46	69	93	116	139	162	186	209	232-255

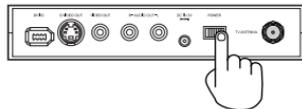
(例：設定値が5ならLEDは1が、設定値が128ならLEDは6が点灯)
またボタンを押し続けると、ボタンを連打した状態と同じようになります。

AUDIO MODEスイッチを押し、番号を確定します。

→ LED表示がCH1からCH12に向かって２度流れる様に点灯し、プリセットチャンネルの内容が更新されます。

①2度流れるように点灯

他の項目も変更する場合は、手順３～7を繰り返します。

POWERスイッチをOFFします。筐体裏面にあるSW7のディップスイッチNo 4をOFFに戻します。

技術解説

■アナログ信号入力の優先順について

すべてのコネクタに同時にケーブルを接続した場合は、

・ビデオ
　1　S-ビデオ入力
　2　コンポジット入力

の順番で優先的に使用されます。

■オーディオモードについて

48kHz16ビットモード

オーディオデータを16ビットモードのステレオ音声を48kHzで記録します。
DATと同等の音質で記録することができます。

32kHz12ビットモード

32kHz12ビット4chの音声信号を持った記録モードです。
ADVC-200TVの録音時では、メイン2chのみ記録し、サブの2chは無音となります。

Unlocked モードについて

民生機器のUnlocked Audioはビデオ1フレームに対するオーディオサンプル数がある程度揺れることが許されており、この揺れの誤差が長時間蓄積されると音ずれの原因となります。
それに対して、Locked Audioはビデオ1フレームに対するオーディオサンプル数がある規則の固定パターンに決められており、オーディオデータをビデオに同期させるため音ずれが発生しません。
しかし、ゲーム機のように大幅に標準信号からずれた映像を入力したときにLocked モードを使用すると、Locked Audioの規則正しいオーディオサンプル数に合わせる限界を超えてしまうので音にノイズが入る事があります。
そのため、当社ではUnlocked モードを用意しました。

■著作権保護機能について

本製品には、コピープロテクト等の著作権保護技術に対応しています。コピーガード信号の付加されたデータが入力されると、輝度、コントラストの極端に下がったデータが出力され、STATUSのLEDが点灯します。

仕様

ビデオ信号形式			NTSCのみ対応
DV	前面端子		4-pin iLINKコネクタ
	背面端子		6-pin iLINKコネクタ
アナログビデオ	前面端子	入力	S-Video(ミニDIN 4ピン)x1 RCAピンジャック(コンポジット)x1
	背面端子	出力	S-Video(ミニDIN 4ピン)x1 RCAピンジャック(コンポジット)x1
アナログオーディオ	データ		48kHz 16bit 2ch 32kHz 12bit 4ch (データフォーマットは4chですが、データが入っているのはメインの2chのみです。サブの2chは無音が入ります。)
	前面端子	入力	RCAピンジャック x2(ステレオ1系統)
	背面端子	出力	RCAピンジャック x2(ステレオ1系統)
テレビ受信部			NTSC(日本地域対応) 音声多重/ステレオ放送対応 受信可能チャネル VHF1～12、UHF13～62、CATV C13～C63
アンテナ端子			F型コネクタ x1(VHF/UHF混合)
電源			ACアダプタ
消費電力			最大9W
外形サイズ(突起物を含まず)			146(W)x27.2(H)x175(D)

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったときは、修理をご依頼になる前に、以下の点をご確認ください。

症状		原因／対策
POWERスイッチを押しても電源が入らない	→	ACアダプタがリアサイドのDC IN 5Vコネクタおよびコンセントに差し込まれているかを確認します。
映像・音声が出力されない	→	POWERスイッチが入っているかを確認します。本製品とDV、アナログビデオを接続するケーブルが正しく接続されているか確認します。
録画できない	→	入力された映像・音声データに著作権保護の信号が含まれている場合、正常に録画することはできません。
カラーバーが表示されない	→	INPUT SELECTスイッチは、続けて3秒以上押してください。
Premiere等でキャプチャー中にTVの放送がモノラル(ドラマ)からステレオ(CM)に切り替るとキャプチャー動作が停止する	→	プリセットチャネル ディップスイッチ No.5 (STEREO FLAG) をONにする。
Premiere等で副音声が聞こえない	→	SW2のディップスイッチNo.5をOFF、No6をON、No.7をONにしてください。または、SW2のディップスイッチNo.5をON、No6をOFF、No.7をOFFにしてください。
ユニット本体のボタンスイッチが動作しない。	→	モード切替 ディップスイッチ No.8がONになっている。この状態ではPCからしか制御できない

以上をご確認いただいても正常に動作しない場合は、以下の当社サポート窓口までお問い合わせください(保障規定については保証書をご覧ください)。

操作方法などの使い方のお問い合わせは

テクニカルサポート　TEL.078-992-6830

※当社が販売を行っていない製品にバンドルされている編集ソフトウェアなどのお問い合わせはお受けできません。

修理や保守部品のお問い合わせは

カスタマーサポート　TEL.078-992-5846

※塗装のはがれ、傷、コネクタ類の破損は無償保障の範囲外となります。

修理をご依頼される際は、以下の情報をご連絡ください。

●製品名　●シリアル番号
●ご氏名　●ユーザーID
●ご住所　●電話・FAX番号
●不具合の具体的な内容

シリアルナンバーシールについて

ADVC-200TVに同梱されているシリアルナンバーシールは、ADVC-200TV底面にある型番シールの空白部にお貼りください。シリアルナンバーシールはお問い合わせ、修理の際に必要となります。

ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書について

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください。
ユーザー登録カードの各項目に必要事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。
また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくはオンラインユーザー登録ページ(http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm)をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要となります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

製品の最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

Canopus ホームページ　　http://www.canopus.co.jp

製品のお問い合わせ窓口について

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号は、お間違えのないようにおかけください。

カスタマーサポート窓口　TEL. 078-992-5846

10:00～12:00/13:00～17:00(土日祝日、当社指定休日は除く)

※修理や保守部品に関するご質問承り窓口です。

テクニカルサポート窓口　TEL. 078-992-6830

10:00～12:00/13:00～17:00(土日祝日、当社指定休日は除く)

※製品の使用方法に関するご質問承り窓口です。